

多賀城跡(多賀城市)

国府多賀城駅から平城宮跡・大宰府跡に並ぶ、日本三大史跡の「多賀城跡(国の特別史跡)」の政庁跡に向かう/途中に「多賀城碑」が存在する



ここが最寄りのJR東北本線国府多賀城駅/「悠久ロマン回廊」なる連絡通路がある



連絡通路上から多賀城跡方向を見たところ/多賀城政庁跡は徒歩10分程の見晴らしの良い、小高い丘に位置している



その左手を見たところ/正面が館前遺跡のようだ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



説明板が立っている



特別史跡館前遺跡

台地上に位置する本遺跡は、多賀城跡の南東隅から二〇〇メートルほどの距離にあり、さらに政庁跡との距離は六〇〇メートルになります。また、ここから南東方向五〇〇メートルの高崎丘陵上には多賀城廃寺があり、本遺跡は政庁と廃寺を結ぶ線のほぼ中間に位置しています。

この遺跡からは掘立柱建物跡六棟、溝跡、整地層などが発見されており、六棟の建物跡はすべて九世紀前半に存在していたものと考えられます。さらに、六棟の中でも中心に位置するものは、四面に廂が付く格の高い建物です。このような建物は、県内では「陸奥国府」が置かれた多賀城跡などで数例確認されているのみであり、しかもそのうち一例は多賀城の政庁正殿であることから、四面廂付建物のもつ意味は本遺跡の性格を考える上で極めて重要です。

本遺跡は、多賀城に赴任した国司の館跡と考えられ、その重要性から昭和五十五年三月に特別史跡多賀城跡附寺跡の一部として追加指定されました。



館前遺跡全景



復原模型

正面が館前遺跡



礎石のような石が残っている/前方に説明板がある



館 前 遺 跡

館前遺跡では昭和54年の発掘調査において、9世紀前半(平安時代初め頃)の建物跡が6棟発見されました。そのうちの中心建物は四面に廂が付く格の高いもので、大きさは多賀城政庁正殿に匹敵します。

建物の性格については、多賀城に赴任した国司と呼ばれる上級役人の邸宅、もしくは、多賀城に関連する役所の跡と考えられており、その重要性から特別史跡に追加指定されています。





公園利用者の
車の乗り入れ禁止
多賀城市

↑ 多賀城(政庁跡)
多賀城碑(壺の碑)
歩行者可

この丘の上に多賀城碑がある



説明板が立っている



多賀城は、奈良時代から平安時代に陸奥国府や鎮守府が置かれ、11世紀中頃までの東北地方の政治・文化・軍事の要だった場所/多賀城碑はその多賀城南門近くに立ち、724年に多賀城が大野東人によって創建され、762年に藤原朝狩によって修造されたことを記している/重要文化財(古文書)/書道史の上からも極めて重要とされている/江戸時代初めに発見されたと云う

政宗が育んだ“伊達”な文化 The “DATE Culture” Fostered by Masamune

多賀城碑 / 壺碑 (つぼの石ぶみ)

Tagajo Castle Monument / Tsubo no Ishibumi (国重要文化財 / 国名勝)

奈良時代に多賀城の修造を記念して制作された石碑です。2代藩主伊達忠宗の頃に土中から発見されると、西行や源頼朝が和歌に詠んだ歌枕ゆかりの地「壺碑」と関連付けられ、有名になりました。それにより、当時の文化人や学者の注目を集めることとなり、仙台藩や民間の俳諧師により保護顕彰されてきました。江戸時代にここを訪れた松尾芭蕉は、時間とともに変わりゆく歌枕の中で、多賀城碑だけが昔からの変わらぬ姿を留めていることに感動したことを、『おくのほそ道』に記しています。

This is a stone monument made to commemorate the repairing of Tagajo Castle in the Nara period. This monument became a popular poetical subject, with which master poets including Saigyō and MINAMOTONO Yoritomo composed Japanese poems about it. Upon the discovery of the Tagajo Castle Monument, this monument was considered to be the legendary “Tsubo no Ishibumi” and gathered attention of intellectuals and scholars at the time. MATSUO Bashō wrote about how deeply he was moved to see this monument remaining the same as the time of its creation, compared to other poetry-inspiring subjects that change over time.



(出典: 朝倉治彦編1987『日本名所風俗図会1陸奥・北陸の巻』角川書店) (原資料所蔵: 仙台市博物館)
江戸時代に描かれた絵図 (『奥州名所図会』)

平成28年度
日本遺産認定

政宗
が育んだ
“伊達”
な文化

JAPAN HERITAGE
日本遺産

仙台藩を築いた伊達政宗については、戦国大名として政治・軍事面での活躍は広く知られているところですが、その一方で時代を代表する文化人でもありました。上方に負けない気概で自らの“都”仙台を創りあげようと、政宗は古代以来東北の地に根づいてきた文化の再興・再生を目指しました。伊達家で育まれた伝統的な文化を土台に、上方の桃山文化の影響を受けた豪華絢爛、政宗の個性ともいべき意表を突く粋な斬新さ、さらには海外の文化に触発された国際性、といった時代の息吹を汲み取りながら、新しい“伊達”な文化を仙台の地に華開かせていったのです。

そして、その文化は政宗だけに留まらず、時代を重ねるにつれ、後の藩主に、さらには仙台から全国へ、武士から庶民にまで、さまざまな方面へ広がり、定着し、熟成されていきました。

スマートフォンで解説をご覧いただけます。
[日本語・英語・繁体字・簡体字・韓国語・タイ語]
Commentary accessible through your smartphone.
(Available in Japanese, English, Simplified and Traditional Chinese, Korean and Thai)

多賀城碑 西暦
Tagajo Castle Monument Tsubo no Ishibumi

前方は多賀城碑の覆屋/説明板がある/覆屋の中に、歌枕として有名な「壺碑(つぼのいしぶみ)」とも呼ばれ、那須国造碑(栃木県)・多胡碑(群馬県)とともに日本三古碑の一つに数えられる多賀城碑(奈良時代の古碑)がある [\(クリックしてビデオを見る\)](#)



重要文化財

多賀城碑

去京一千五百里

多賀城
去蝦夷国界一百廿里

去常陸国界四百十二里

去下野国界二百七十四里

去靺鞨国界三千里

西

此城神龜元年歲次甲子按察使兼鎮守將

軍從四位上勳四等大野朝臣東人之所置

也天平宝字六年歲次壬寅參議東海東山

節度使從四位上仁部省卿兼按察使鎮守

將軍藤原惠美朝臣朝獨修造也

天平宝字六年十二月一日

上部に「西」の一字があり、その下、細い線で囲んだ中に十一行、一四〇字が刻まれています。碑文内容は大きく二つに分かれ、前半は、京（平城京）などから多賀城までの距離が記されています。当時の一里は約五三五mです。後半には、神龜元年（七二四）、大野朝臣東人が多賀城を設置したこと、天平宝字六年（七六二）、藤原惠美朝臣朝獨が多賀城を修造したことが記され、最後の行に碑を建てた年月日が刻まれています。碑文の内容が藤原朝獨による修造に力点を置いていることから、多賀城修造記念碑とみることができます。

碑は歌枕「壺碑」としても有名で、元禄二年（一六八九）、松尾芭蕉は「おくのほそ道」の旅の途中、碑と対面し、そのときの感動を紀行文『おくのほそ道』に書き残しています。また多賀城碑は、那須国造碑（栃木県大田原市）、多胡碑（群馬県高崎市）とともに、日本三古碑のひとつに数えられています。

多賀城と古代東北の解明にとって重要な記載があり、また、数少ない奈良時代の金石文として貴重であることから、平成十年六月三十日、国の重要文化財（古文書）に指定されました。

平成二十三年二月 多賀城市教育委員会

寸法 高さ一九六㎝、最大幅九六㎝、厚さ七〇㎝
石材 花崗質砂岩

松尾芭蕉も旅の途中にこの碑を訪れ、深い感動をもって対面した様子が『奥の細道』に記されているらしい

碑面には、京・蝦夷・常陸・下野・靺鞨(まっかつ)の国境から多賀城までの距離、多賀城の創建および修造の由来が刻まれ、天平宝字6年(762年)12月1日の日付がある



碑面をほぼ真西に向け立てられている/碑には、上部に大きく「西」の文字が刻まれており、なぜ西と刻まれているのかなど解明されていない点も多くあると云う/「西」が意味するものは何であろうか/また、靺鞨(まっかつ)とは中国の隋唐時代に中国東北部(現在のロシア沿岸地方)に存在した民族及び国家のことを指すらしく、東北から見た世界の範囲が描かれているのだと云う



特別史跡多賀城跡附寺跡の案内板

特別史跡
多賀城跡
附寺跡

4
QRコード
多賀城跡
2019年10月1日現在

5 六月坂地区

外郭東門—西門間道路の屈曲点に位置し、平安時代の役所建物跡や倉庫跡などがみつがっています。

4 政庁跡

多賀城の中央に位置しています。一辺約100mの築地帯で囲われ、重要な政務や儀式が執り行われました。

3 城前地区

政庁南大路沿いに位置し、多賀城内では早い段階の8世紀中頃の役所建物跡が見つがっています。

1 外郭南門跡

外郭区画施設の南辺ほぼ中央に位置する門跡。この門から政庁正面まで直線道路が延びていました。

1 多賀城碑

多賀城の造営や改修について記す記念碑。他の文献にはない貴重な情報が記載されています。日本三古碑の一つ。

現在地

7 外郭北東隅

多賀城を囲む約1km四方の外郭区画施設の北東隅。ここでは奈良時代と平安時代の築地帯が確認できます。

6 外郭東門跡

外郭区画施設の東辺北寄り位置します。奈良時代と平安時代では門の位置や規模、構造などが変化しています。

6 大畑地区

外郭東門近くに位置します。ここに埴輪所が設置され、8世紀後半には最大な建物が建てられていました。

8 作貴地区

政庁の東に位置し、主屋を中心としたコの字型配置の役所建物跡などが見つがっています。

9 外郭南東隅

多賀城を囲む約1km四方の外郭区画施設の南東隅。ここでは材木庫の根元が今も地下に埋まっています。

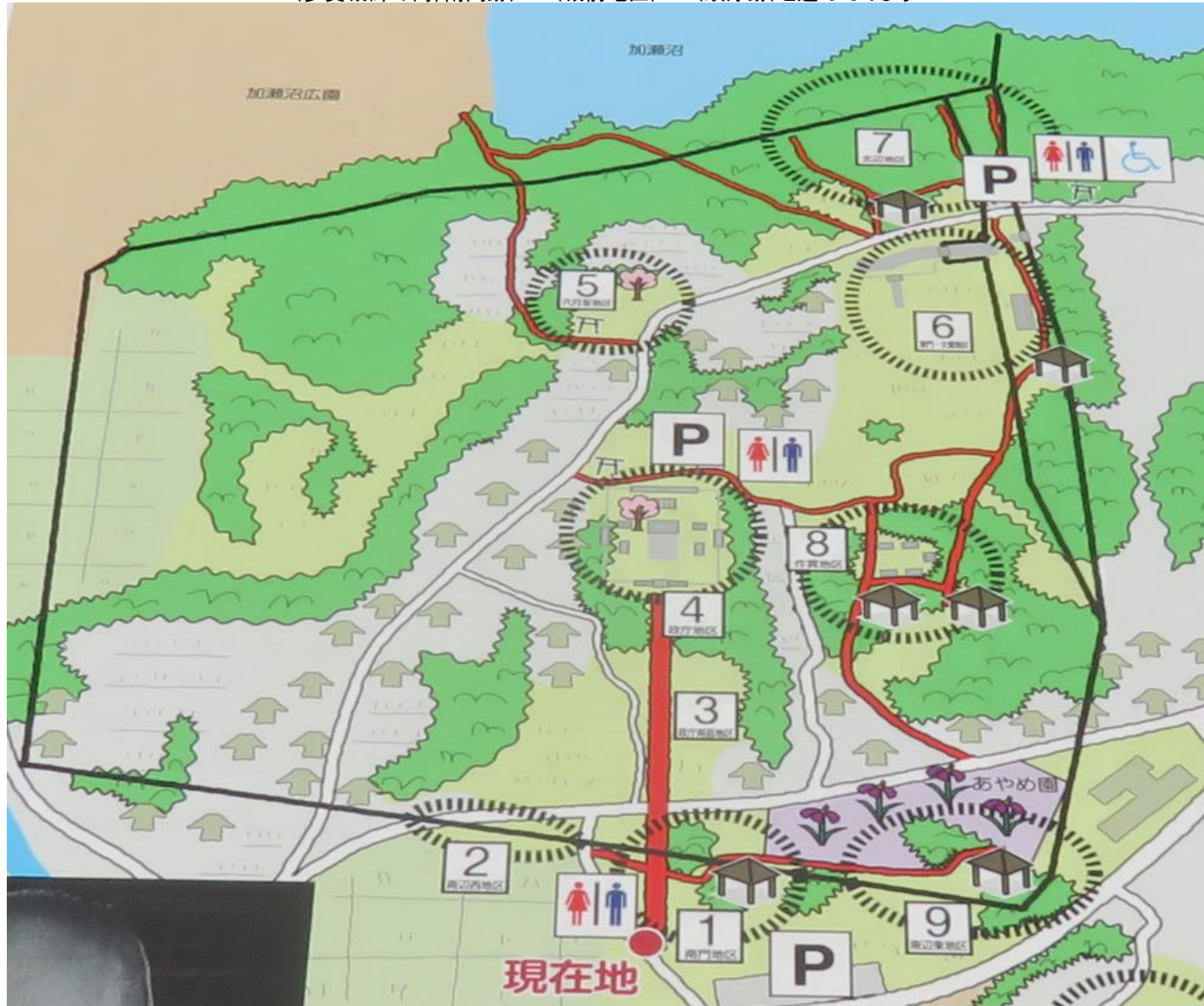
10 館前遺跡

多賀城南東の独立丘陵に位置する遺跡。9世紀前半の上級役人の邸宅跡がありました。

多賀城廃寺跡

多賀城の付属寺院。多賀城とほぼ同時期に創建され、塔や金堂の配置は大宰府に付属する観世音寺と似ています。

1(多賀城碑・外郭南門跡)→3(城前地区)→4(政庁跡)と進んでみよう



ここは「外郭南門跡」



この路(南北大路)を真っ直ぐに北方向へ進むと政庁跡に至る

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



さまざまな説明板がある



これは多賀城跡地形模型



た が じょうあと
多賀城跡地形模型

縮尺 1/1000

Site of Tagajo Castle
Topographical Model

多賀城遺址地形模型 / 多賀城遺址地形模型

다가조유적 지형 모형

多賀城跡は奈良・平安時代の陸奥国府でした。平野をのぞむ丘陵を、約1km四方の築地塀などで囲み、中央には儀式を行う政庁がありました。城内のやや小高い所には、役所の建物がたくさん建っていました。

This is the site of Tagajo Castle, which used to be the administrative center of Mutsu Province during the Nara and Heian Periods. Earthen walls 1 km in length surrounded the site on all four sides, and the central grounds contained a government office dedicated to holding official ceremonies.

多賀城遺址为奈良·平安时代的陆奥国府遗址。地形为丘陵地带，用“筑地塀”城墙围成1平方公里的方形领地，中央为举行仪式的“政厅”。
多賀城遺址為奈良·平安時代的陸奧國府遺址。地形為丘陵地帶，用“築地塀”城牆圍成1平方公里的方形領地，中央為舉行儀式的“政廳”。
다가조는 나라·헤이안시대의 행정관청인 무쓰 고쿠후의 유적입니다. 평야를 내려다보는 구릉지를 사방 약 1km의 쓰이지(토담)로 둘러싸고, 중앙에는 의식을 거행하는 정청이 있었습니다.

外郭南門を復元する計画があると云うが・・・



多賀城跡全景(南から) Site of Tagajo Castle (Aerial View from the South)
多賀城跡全景 (从南側拍攝) 多賀城跡全景 (從南側拍攝) 다가조 유적 전경 (남쪽에서)

南門推定復元図 Visual Reconstruction of the South Gate
南門推定復元圖 南門推定復元圖 남문 추정 복원도



多賀城の外郭南門跡

Site of the Outer South Gate of Tagajo Castle

多賀城外郭南門遺址 / 多賀城外郭南門遺址
다가조 외곽 남문지

ここには多賀城の正門がありました。
多賀城の中心施設である政庁の南方
約300mのところにあたります。
この門は多賀城の正面を飾るため、屋
根が二重になっている立派な門で
あったと考えられています。

南門の他にも東・西門の跡が見つかっ
ており、いずれも瓦葺きで、陸奥国府
としての威厳を示しています。

将来、図のような姿に復元する計画が
あります。

This is the site of the outer south gate of Tagajo Castle, considered the most important gate on the castle grounds.

这里曾是多賀城外郭南門，是多賀城最重要城門。

這裡曾是多賀城外郭南門，是多賀城最重要城門。

여기에는 다가조의 외곽 남문이 있었습니다. 이것은 다가조 내에서도 가장 중요한 문이었습니다.

標柱も立っている



振り返って今来た方向を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



前方をアップで見たところ/この路が南北大路



「南門跡」と記された標石もあった



その傍にあった説明板



多賀城の南門跡と築地塀跡

Site of the South Gate and Earthen Walls of Tagajo Castle
 多賀城南門和“築地塀”城牆遺址 / 多賀城南門和“築地塀”城牆遺址
 다가조 남문지와 쓰이지(토담) 유구

多賀城政庁の正面約300mに位置するこの場所で、南門と築地塀の跡が発見されました。写真の手前の小石の集まりは、礎石(柱の土台石)を安定させるための石で、ここに南門の柱がたっていたことがわかります。中央に走る土手状の高まりは築地塀の跡です。築地塀は、土をていねいにつき固めて高く築き上げた塀です。その塀の根元が写真のように残っていました。



Bank-like remains of the earthen walls that connected directly to the south gate can be seen here.

这里的土垒是“築地塀”内牆遺址，一直延續到南門。

這裡的土壘是“築地塀”內牆遺址，一直延續到南門。

여기에는 남문으로 이어지는 쓰이지의 흔적이 제방 형태의 둔덕으로 남아있습니다.

この小石の上に礎石を置き、その上に南門の柱が立っていた

Foundation stones to hold the pillars for the south gate were placed on top of these pebble strata

石敷土台(礎石)・礎石上南門立石

이 직선을 위해 쓰이지를 두고 그 위에 남문

●●●●●●●●●●

発掘調査状況(平成26年) Excavation Work (2014)
 考古調査状況(2014年) 考古調査現況(2014年) 발굴조사현황(2014년)

さて、この前方に政庁跡が存在する

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



「史跡多賀城跡」と記された標柱



周辺は整備工事中のようだ





多賀城は 2024 年で創建 1300 年
(多賀城碑の碑文によると創建は 724 年)
を迎えます。これを記念して、現在、
奈良時代の政庁南大路の復元と、古
代役所エリアの整備を行っています。

前方の小高い丘の上に政庁跡が展開している

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



この階段を登っていく

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



この辺りが「城前地区」



傍にあった説明板



発掘調査状況(昭和61年) Excavation Work (1986)
考古調査現状(1986年) 考古調査現状(1984年) 발굴조사상황(1986년)

石組みの暗渠跡 Remains of Stone Culverts
用石積み構成的暗渠遺址 用石堆構成的排水遺址 石조 堆수 遺址

階段跡 Remains of Stairs
台阶遺址 台階遺址 계단유구

多賀城の正門である外郭南門から、中枢部である政庁まで、南北にまっすぐ通じる道路で、多賀城の中で最も重要な道路です。
発掘調査の結果、道路幅は、政庁第I~II期(8世紀)が約13m、第III~IV期(9~11世紀中頃)は約23mであったことが分かりました。政庁南側斜面は自然石を並べた階段が設けられていました。また道路には排水用の暗渠も設置されており、ここから多数の木簡が見つかっています。現在は政庁第I~II期の姿に復元整備しています。

The boulevard running from the south gate, used as the main entrance to Tagajo Castle, north to the government office was the most important roadway within castle grounds.

从外郭南門到多賀城核心建築“政廳”貫穿南北的道路，多賀城中最重要的道路。

從外廓南門到多賀城核心建築“政廳”貫穿南北的道路，是多賀城中最重要的道路。

ここからが政庁跡のエリアに入る

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



さまざまな説明板があった

(クリックしてビデオを見る)



「律令政府は多賀城を拠点して支配地を北に広げていった」



su Province
令にも
中させ
た。多
建さ
中頃
機能
apan
egal
thin
me
ce,
the
he
而
4
律令政府は、多賀城を拠点として支配地を北に広げていった。

政 庁

The Government Office

政庁 / 政廳

정청

政庁は政務や儀式が行われる、城内で最も重要な場所です。周囲は約100mの築地塀で囲まれ、内部には正殿・脇殿などの建物が計画的に配置されていました。

State affairs and ceremonies were conducted in the government office, the most important building within the castle grounds. Enclosed by earthen walls 100 m in length on each side, the complex was methodically organized and contained such structures as the main hall and side halls.

政庁是舉辦政務和儀式的場所，為城內最重要設施。周圍建有方圓100米的“築地塀”城牆，內部設有正殿、偏殿等建築設施，排列整齊有序。

政廳是舉辦政務和儀式的場所，為城內最重要設施。周圍建有方圓100米的“築地塀”城牆，內部設有正殿、偏殿等建築設施，排列整齊有序。

정청은 정무나 의식이 거행되는 성 안에서 가장 중요한 장소입니다. 주위는 약 100m 길이의 쓰이지로 둘러싸여 있고 내부에는 정전·협전 등의 건물이 정연하게 배치되어 있었습니다.



政庁跡 Site of the Government Office

政庁址 政廳址 정청 유적



西邊築地塀跡

Site of the Earthen Walls of the Government Office

西面邊緣的土牆 西面邊緣的土牆 서변의 토담



南門跡 Site of the South Gate

南門遺址 南門遺址 남문 유적



鹿文博 Kamonsen Tiles

鹿紋磚 鹿紋磚 가문센

第 I 期の政庁の建物配置

政庁の建物配置と変遷

Layout of the Government Office and Subsequent Changes

政庁的建築結構和变迁 / 政廳的建築結構和變遷
정청의 건물배치와 변천

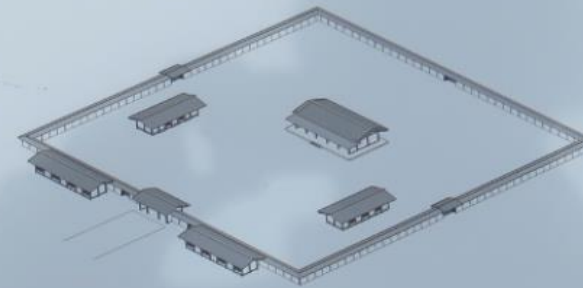
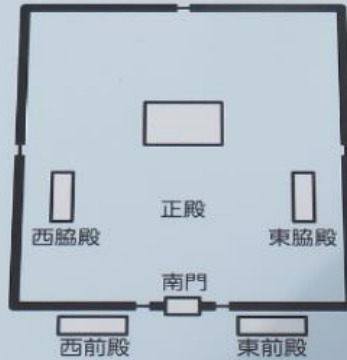
政庁には、中心に正殿が、その左右前方には東・西脇殿が、南正面には南門が建てられ、これらに囲まれた広場が儀式を行う重要な場所となっていました。政庁には4時期の変遷がありますが、いずれの時期にも、これらの主要な建物の配置は変わっていません。

The government office contained the main hall in the center as well as side halls to the front left and right. The platform surrounded by these structures and the south gate was an important place reserved for holding ceremonies. Although there were four periods during which the government office underwent changes, the location of these important facilities remained the same.

政庁内部核心为正殿，其前方两侧各设有东西偏殿，正南方建有南門，

政廳內部核心為正殿，其前方兩側各設有東西偏殿，正南方建有南門，

정청에는 가운데에 정전, 그 좌우 전방에는 동·서협전, 남쪽 정면에는 남문이 설치되어 있었고, 이들에 둘러싸인 광장은 의식을 거행하는 중요한 장소였습니다. 정청에는 4시기의 변천이 있었지만, 어떤 시기에도 이러한 주요 건물 배치는 바뀌지 않았습니다.



神龜元(724)年

第 I 期

大野東人により
多賀城が創建される

最初に造営された政庁で、建物はすべて掘立式です。主要建物は瓦葺きであったと考えられています。

First Period: Azumahito Ono oversees construction of Tagajo Castle
At the time the government office was constructed, all of the buildings were built using stilt-style construction, and the most important ones among them are thought to have had tile roofing.

第1期 由大野東人創建多賀城 最初建造の政庁為高床式建築，主要建築鋪有瓦屋頂。
第1期 由大野東人創建多賀城 最初建造の政廳為高床式建築，主要建築鋪有瓦屋頂。

제1기 오노 아즈마히토에 의해 다카조가 건설됨
처음 만들어진 정청의 건물은 모두 굴립식입니다. 주요건물은 모두 기와를 얹었던 것으로 정립니다.

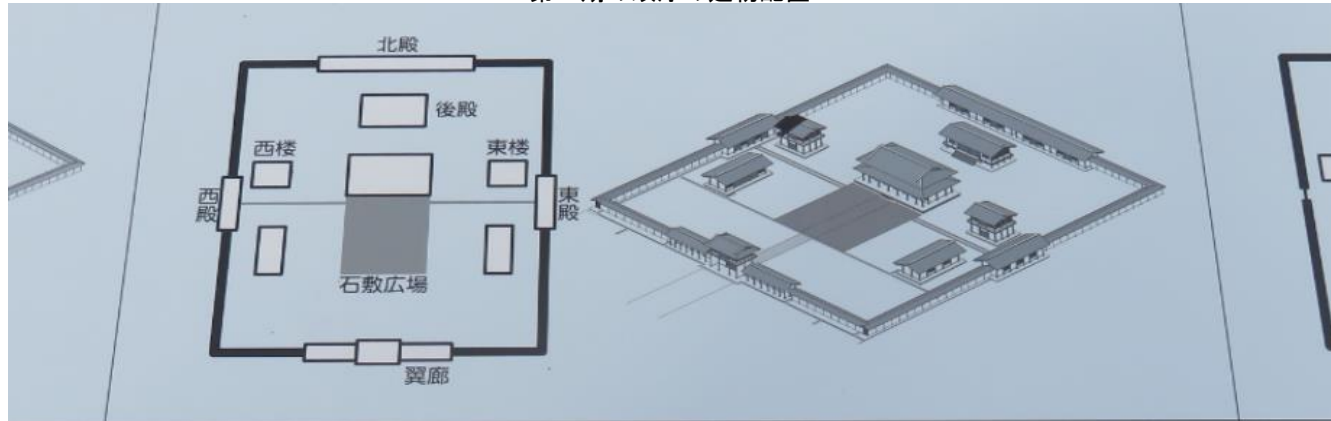
この頃：

- ◆平城京に遷都【710年】
- ◆出羽柵(秋田城)が造営【733年】

平城京朱雀門(復元)



第Ⅱ期の政庁の建物配置



天平宝字6(762)年

第Ⅱ期

式
て

藤原朝獺により
多賀城の大改修が
行われる

建物はすべて礎石式・瓦葺に建て替えられます。
伊治公皆麻呂の乱で焼失しました。現地では、最
も荘厳であったこの時期の姿を表示しています。

伊
焼

Second Period: Asakari Fujiwara leads large-scale renovations of Tagajo Castle
All of the buildings were converted to have stone foundations and tile roofing, but were burned down
as a result of revolt by Azamaro Koreharinokimi. This period is considered the most magnificent stage in the history of Tagajo Castle.

第2期 由藤原朝獺改建多賀城 所有建築均改建成柱礎式・瓦屋頂、伊治公皆麻呂之亂時被燒毀。目前在現地部分復原了最莊嚴時期的風貌。

第2期 由藤原朝獺改建多賀城 所有建築均改建成柱礎式・瓦屋頂、伊治公皆麻呂之亂時被燒毀。目前在現地部分復原了最莊嚴時期的風貌。

제2기 후지와라노 아사카리에 의해 다가조의 대대적인 개보수가 이루어짐.

건물은 모두 초석식·기와건물로 재건축됩니다. 그레하리노키미 아자마로의 난으로 소실되었습니다. 현지에는 가장 장엄했던 이 시기의 모습을 보여주고 있습니다.

Thin
Aft
but

第3
第
제
호

この頃…

- ◆東大寺大仏開眼供養【752年】
- ◆桃生城が造営【760年】
- ◆伊治城が造営【767年】

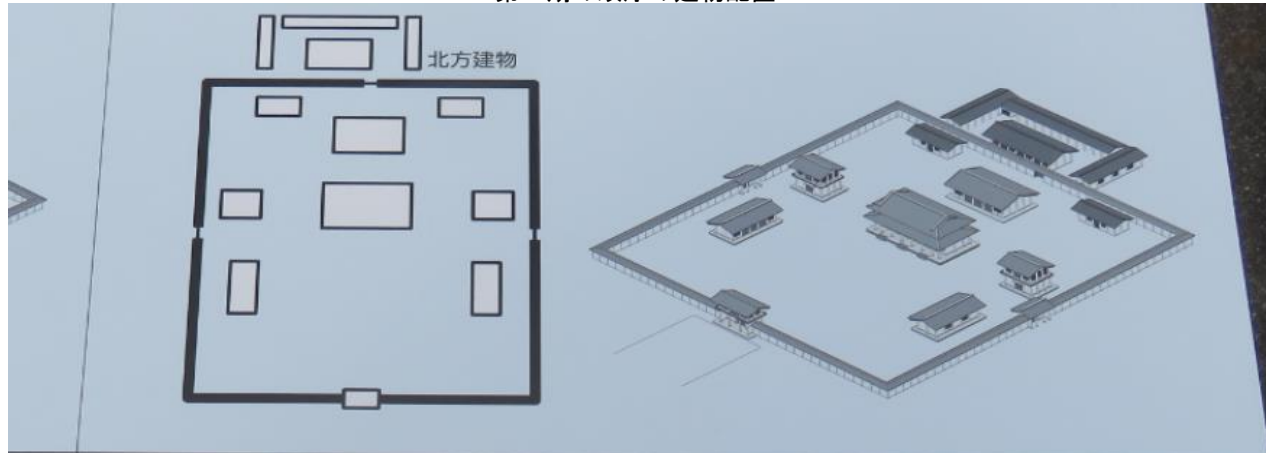


桃生城跡

第Ⅲ期の政庁の建物配置

<p>宝亀11(780)年</p>	<p>第Ⅲ期</p>
<p>こればりのせみ あざまろ 伊治公告麻呂による 焼き討ち後に再建</p>	<p>火災後に同じく礎石式・瓦葺で再建されました。 貞観11年(869)の大地震で被害を受けます。</p> <p>Third Period: Reconstruction after being set on fire by Azamaro Koreharinokimi. After the fire, the government office was rebuilt again with a stone foundation and tile roofing, but suffered damage as a result of a large-scale earthquake in the 11th year of the Jogan Period (869).</p> <p>第3期焼毀後由伊治公告麻呂重建 火災後,以同様の柱礎式・瓦屋頂的形式進行了重新建造,因貞観11年(869)の大地震遭受毀壞。 第3期焼毀後由伊治公告麻呂重建。 火災後,以同様の柱礎式・瓦屋頂的形式進行了重新建造,因貞観11年(869)の大地震遭受毀壞。 제3기 고레하리노키미 아자마로에 의한 방화 이후 재건 화재 후에 이전과 동일한 초석식 기와건물로 재건했습니다. 조간11년(869년)의 대지진으로 피해를 입었습니다.</p>
<p>この頃…</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆長岡京遷都【784年】 ◆平安京遷都【794年】 ◆多賀城城内の整備が進む ◆多賀城城外に街並みができる 多賀城南北大路 	

第Ⅳ期の政庁の建物配置



貞観11(869)年

第Ⅳ期

陸奥国大地震
被災後の復興

震災復興では主に瓦の葺き替えが行われました。
その後、新たに北方建物がつくられます。

Fourth Period: Recovery after the 869 Jogan Earthquake
Recovery from the earthquake focused on replacement of roof tiles, which was followed by construction of a new complex to the north.

第4期 陸奥国大地震被災後の復興 震災復興中、主要重新鋪設了瓦屋頂、其後又新建了北方建築。

第4期 陸奥国大地震被災後の復興 震災復興中、主要重新鋪設了瓦屋頂、其後又新建了北方建築。

제Ⅳ기 무쓰노쿠니 대지진 피해 이후의 복원

지진피해복구에서는 주로 기와의 교체가 이루어졌습니다. 그 후 새롭게 북방건물이 만들어집니다.

この頃…

- ◆元慶の乱で秋田城が焼かれる【872年】
- ◆十和田湖を噴源とする火山灰が降る【915年】
- ◆平将門の乱がおこる【935年】

これは政庁復元模型/第Ⅱ期(8世紀後半)の姿

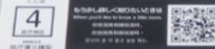
[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



政庁復元模型 縮尺 1/200

Model Reconstruction of
the Government Office
政庁复原模型 / 政廳復原模型

정청 복원모형



この模型は第Ⅱ期(8世紀後半)の姿を推定復元した
ものです。主要な建物である正殿、東・西脇殿、南門の
ほかに、東・西楼と後殿が新たに建てられ、広場は石敷き
になります。南門の左右には翼廊が付き、築地塀には
東・西殿や北殿などの装飾的な建物が付け加えられます。

This model shows a reconstruction of the government office that served as the
central administrative facility for Tagajo Castle during the latter 8th century.

此模型复原了 8 世纪后半叶的多贺城核心建筑“政厅”

此模型復原了 8 世紀後半葉的多賀城核心建築“政廳”

이 모형은 8세기 후반의 다가조 중추부인 정청 건물을 추정복원한 것입니다.

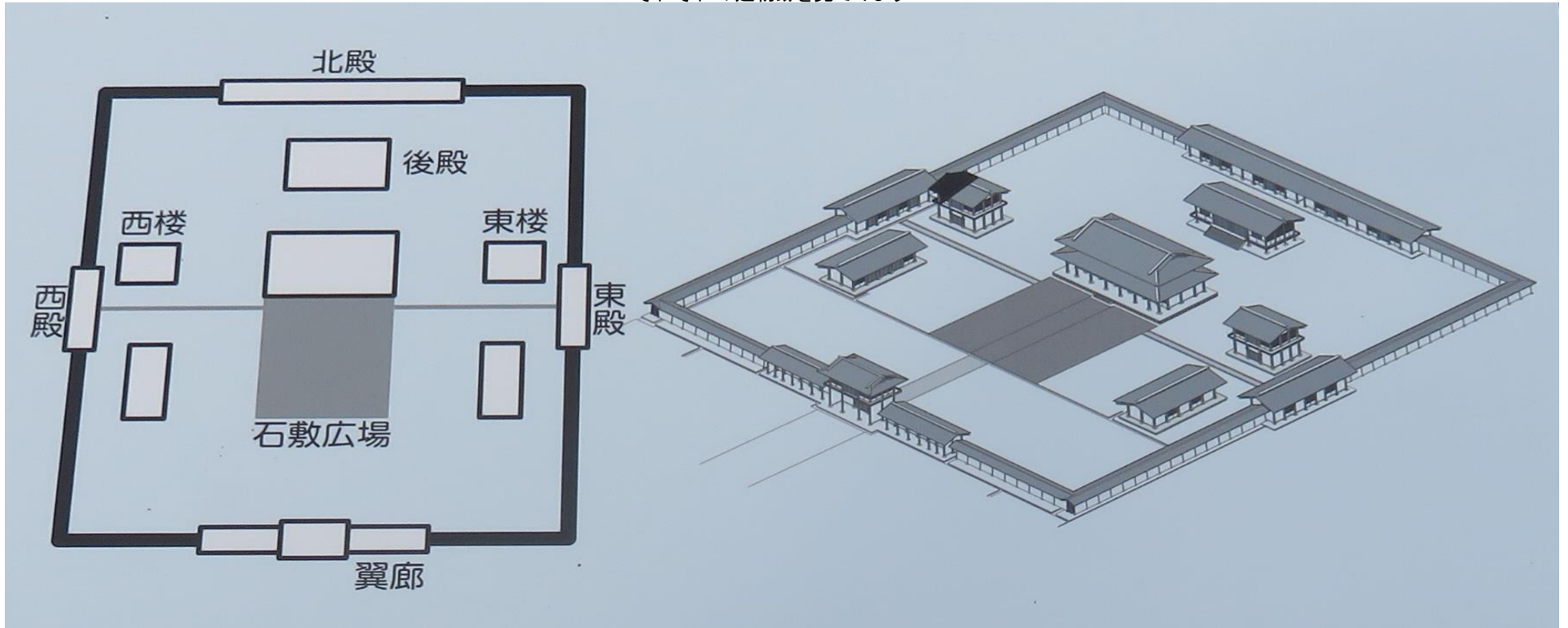
アップで見たところ



左手から見たところ



それぞれの建物跡を見てみよう



ここは政庁南門跡





政庁南門跡の説明板



推定復元図 Visual Reconstruction
推定復元図 推定復元図 추정축영도

せいちょうなんもんあと
政庁南門跡

Site of the South Gate
政庁南門遺址 / 政廳南門遺址
정청 남문 유적

ここには、政庁の南正面の門がありました。奈良時代後半の第Ⅱ期は礎石式で、東西には門を飾るために翼廊よくろうが取り付いていました。現在表示している建物北側の石組溝の石は当時の実物です。

This is the site of the main south gate of the government office. During the second period (late Nara Period), the south gate was converted to have a stone foundation, and transepts were added to decorate the east and west sides of the gate. The stones currently in place along the gutter to the north of the structure are actual stones from that time period.



発掘調査状況(昭和44年)

Excavation Work (1969)
考古調査現状(1969年) 発掘調査現状(1969年)
발굴조사상황(1969년)

这里为政厅正南面的大门。奈良时代后半期的第2期为柱礎式建筑、东西两侧为装饰大门而建翼廊。现在展示的建筑物北侧的石块是考古出土的实物。

這裡為政廳正南面的大門。奈良時代後半期的第2期為柱礎式建築、東西兩側為裝飾大門而建翼廊。現在展示的建築物北側的石塊是考古出土的實物。

여기에는 정청의 남쪽 중앙문이 있었습니다. 나라시대 후반인 제Ⅱ기는 초석식으로 동서에는 문을 장식하기 위해 익랑이 달려 있었습니다. 현재 표시하고 있는 건물 북쪽 석조구의 돌은 당시의 실물입니다.

左手から見たところ/礎石が据えられている



東翼廊跡





東翼廊跡

「東南建物跡」の標石がある





東南建物跡

西翼廊跡





「西南建物跡」の標石がある



(クリックしてビデオを見る)



南西隅から政庁跡を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



南西隅で北方向に堀跡を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



南西隅で東方向に掘跡を見たところ



左手の土塁上で東方向を見たところ



正面が正殿跡/復元された基壇が見える/南側から見たところ



左側から見たところ



政庁正殿跡の説明板/政庁の中心となる建物の跡/礎石式の四面廂付建物



推定復元図 Visual Reconstruction
推定复原图 推定复原图 李智英製図

せいちょうせいでんあと
政庁正殿跡

Site of the Main Hall
政庁正殿遗址 / 政廳正殿遗址
정청 정전 유적

政庁の中心となる建物の跡です。礎石式の四面廂付建物で、その南は石敷の広場となっていました。現在は建物の基壇のみを復元表示していますが、礎石の一部は当時の実物です。

This is the site of the most important structure within the government office. The main hall, constructed on foundation stones and having four eaves, included a stone platform to the south. At present, only the foundation has been restored, with one part consisting of original stones from the time period.



発掘調査状況(昭和44年)
Excavation Work (1969)
考古調査現状(1963年) 総観調査現状(1969年)
발굴조사상황(1969년)

政庁为城内核心建筑，是柱礎式四面屋檐建筑。其南面有用石子铺设的广场。现在只复原了建筑的基础部分，基石为考古出土的实物。

政廳為城內核心建築，是柱礎式四面屋簷建築。其南面有用石子鋪設的廣場。現在只復原了建築的基礎部分，基石為考古出土的實物。

정청의 중심이 되는 건물유적입니다. 조석식 사면상부(사면으로 처마가 나오는 구조)건물로 그 남쪽은 바닥을 돌로 깐 광장으로 되어있었습니다. 현재는 건물의 기단만을 복원 표시하고 있지만 조석의 일부는 당시의 실물입니다.

北東側から見たところ



礎石(一部は当時の実物)が据えられている



別の角度から



北側から見たところ



正殿跡から南門跡方向を見たところ/正殿跡の先は石敷広場跡



前方は正殿の背後の後殿跡

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



後殿跡を西側から見たところ



同じく、北西側から見たところ



これは東南建物跡/北西側から見たところ



北側から見たところ



政庁東殿跡の説明板



せいちょうとうてんあと 政庁東殿跡

Site of the East Hall
政庁東殿遺址 / 政廳東殿遺址
정청 동전 유적

政庁東門の位置につくられた、第Ⅱ期に特徴的な建物です。築地塀を飾った建物であったと考えられています。

This structure is characteristic of the second period and was built at the site of the east gate of the government office. It is thought to have decorated earthen walls.



発掘調査状況(昭和44年)

Excavation Work (1969)
考古調査状況(1969年) 推定調査状況(1969年)
발굴조사상황 (1969년)

东殿建于政庁东门的位置，具有第2期特征的建筑。一般推测东殿是为修饰“築地塀”而修建。

東殿建於政廳東門的位置，具有第2期特征的建筑。一般推测東殿是为修饰“築地塀”而修建。

정청 동문 위치에 만들어진 제Ⅱ기의 특징적인 건물입니다. 쓰이지를 설치한 건물이었던 것으로 추정됩니다.

東殿跡/南側から見たところ/土塁が続いている/左前方は東楼跡

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



東殿跡から正殿跡方向を見たところ



東楼跡/南側から見たところ



南西側から見たところ



西側から見たところ



これは西南建物跡/南側から見たところ



北側から見たところ



こちらは西殿跡/標石には西脇殿跡と記されている





西楼跡/南側から見たところ



東側から見たところ



さて、これは後殿跡背後の北殿/東側から見たところ



振り返って東方向を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



北殿跡の西側を見たところ



これは北殿跡から後殿跡、政庁跡方向を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



その近くにも「政庁跡」の標柱が立っていた



さて、この建物は多賀城跡管理事務所/その前に説明板が立っていた



政宗が育んだ“伊達”な文化 The “DATE Culture” Fostered by Masamune

多賀城跡附寺跡 (国特別史跡)

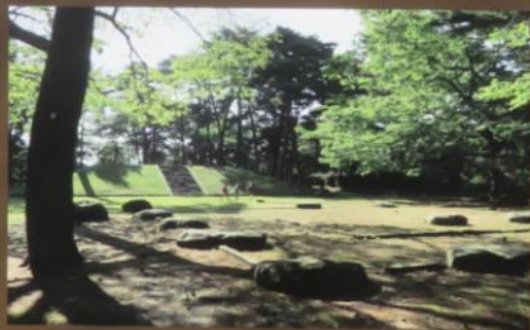
Site of Temple Belonging to Tagajo Castle

奈良・平安時代に陸奥国の国府が置かれたところで、奈良時代には鎮守府も併せ置かれていた古代東北の政治・軍事・文化の拠点です。平安時代、都の貴族たちはこの地を「^{ちんじゆふ}みちのく」の名であこがれ、多くの歌を詠んできました。江戸時代に多賀城碑が発見され、古代にまでさかのぼる遺跡であることが分ると、仙台藩の儒学者佐久間洞巖や地元の人々などによって調査研究され、保護されてきました。

Being the site of the local branch office of the nation since the ancient times, this location was the base of politics, military and culture in the Tohoku region. The nobles in the capital used to hanker for this place, calling it by the name of “Michinoku” and composing many poems about it. Tagajo Castle Monument was discovered in the Edo period, and it revealed that the remains dated back to the ancient times. Thereafter, scholars of the Sendai domain and other local people conducted investigations and research, and made efforts for its protection.



明治時代に描かれた絵図 (「多賀城古跡の図」)



多賀城廃寺跡

平成28年度
日本遺産認定

政宗
が育んだ
“伊達”
な文化



JAPAN HERITAGE
日本遺産

仙台藩を築いた伊達政宗については、戦国大名として政治・軍事面での活躍は広く知られているところですが、その一方で時代を代表する文化人でもありました。上方に負けない気概で自らの“都”仙台を創りあげようと、政宗は古代以来東北の地に根づいてきた文化の再興・再生を目指しました。伊達家で育まれた伝統的な文化を土台に、上方の桃山文化の影響を受けた豪華絢爛、政宗の個性ともいべき意表を突く粋な斬新さ、さらには海外の文化に触発された国際性、といった時代の息吹を汲み取りながら、新しい“伊達”な文化を仙台の地に華開かせていったのです。

そして、その文化は政宗だけに留まらず、時代を重ねるにつれ、後の藩主に、さらには仙台から全国へ、武士から庶民にまで、さまざまな方面へ広がり、定着し、熟成されていきました。

スマートフォンで解説もご覧いただけます。
[日本語] [英語] [繁体字] [簡体字] [韓国語] [タイ語]
Commentary accessible through your smartphone.
Available in Japanese, English, Simplified and
Traditional Chinese, Korean and Thai.





特別史跡 多賀城跡附寺跡

多賀城跡は、この附近の丘陵一帯の市川、浮島両地区にかけて所在しています。仙台平野の北端に位置しており、南に太平洋を望むことができません。東には国府の港と推定される塩竈の港をひかえるなど、古くから交通の要衝でした。

今からおよそ千三〇〇年前、奈良時代前半に陸奥国の国府として創建された多賀城は、鎮守府としての役割も果していました。多賀城は、周囲が堀（おもに築地土堀）をめぐらし、その痕跡は現在でも土手状の高まりとして残っています。多賀城の平面形は、不整形をなし、広さはほぼ方八町に相当します。そのほぼ中央部に重要な政務や儀式が行われた政庁があります。

多賀城跡は、大正十一年十月に多賀城廃寺とともに国の史跡に指定されました。さらに、昭和三十年代に実施された発掘調査の成果により、日本の歴史を理解する上で学術上の価値が特に高く、貴重な遺跡として昭和四十一年四月、国の特別史跡に指定されています。その後も、多賀城跡と多賀城廃寺は、国司館など数回の追加指定が行われ、現在特別史跡の指定面積は約一〇七万六千平方メートルに及びます。

多賀城跡を末永く大切に保護するため、多賀城市では、指定地域の買上げを年次計画によって実施するとともに、特別史跡の維持管理を行っています。さらに、宮城県では、宮城県多賀城跡調査研究所を設置し、学術的調査を行い史跡公園として環境整備を継続的に実施しています。

多賀城市では、今後も我が国の歴史にとって欠くことのできない、国民の財産であるこの史跡を積極的に保存し、活用を図る所存であります。

平成十年三月

多賀城市教育委員会

こちらは近くの多賀城神社

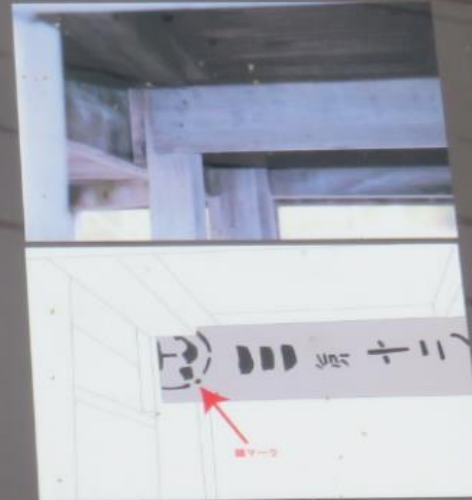


た が じょう じん じゃ
多賀城神社

Tagajo Shrine



昭和 27 年 (1952) に建立された市内で最も新しい神社です。南北朝時代、陸奥太守として多賀国府に赴任した義良親王 (のちの後村上天皇) と北畠親房・顕家父子を祀っています。社殿は、第二次世界大戦時の多賀城海軍工廠奉安殿を移築したものであり、海軍工廠の数少ない遺構としても貴重です。



床下の部材に見える海軍の印字

This is the newest shrine in the city, built in 1952. It is dedicated to Emperor Noriyoshi (posthumous name: Emperor Go-Murakami) and Kitabatake Chikafusa (a noble and writer who was the father of Kitabatake Akiie, a key supporter of the Southern Court during the civil war of the period), who left their leadership posts in the Taga government of the Northern Court for the Southern Court. The shrine hall is the reassembled structure of the shrine sanctuary of the Tagajo Naval Shipyard that was disassembled and relocated here during World War II, making this one of the precious few remains from the shipyard.

た が じん じゃ
多賀神社
Taga Shrine
(200m)

き ぶね じん じゃ
貴船神社
Kifune Shrine
(110m)

これがその社殿



多賀城神社縁起

この神社は、多賀城神社と称し、後村上天皇をはじめとし、北畠親房、頭家父子、伊達行朝、結城宗廣等の南朝の諸將を奉祀する神社である。

元弘三年（一一三三）五月、鎌倉幕府を滅ぼし建武新政を樹立された後醍醐天皇は、ひそかに関東、東北を巡視して新政府に叛旗をひるがえさんとする足利尊氏の不逞を恐れた。家議左中將北畠親家を陸奥守に任じ、

生まれつれた、憲良王（建武元年親王の宣下あり以後、憲良を義良と改めらる）を奉じ、陸奥、出羽兩國を鎮撫のため陸奥國府の所在する多賀城に下向せしめられた。この時、義良親王御歳六也。頭家十六文であつたのを、建武中興の元勳であつた前太納言北畠親房を親王の御守役として、また、頭家の神佐役としてともに下向せしめられた。

爾來、義良親王には、延元四年（一一三九）十月吉野守宮におかれ即位（第九十七代後村上天皇）されるまで、わずか七年の間に陸奥大守として、二度にわたり通算三年の歳月を多賀城において南朝の忠臣達とともに王政復古のためつくられたのである。

このことも永く記念するため、昭和九年七月「多賀城史跡名勝保存會」を組織、昭和十年四月「後村上天皇御座処」の碑を、殿跡の北西隅に建立し同時に御遷葬されたのイが、そして、これを契機として、後村天皇をはじめ建武新政の礎となつた南朝の忠臣諸將を祀する神社創設の機運が盛りあがつたのであるが、たゞ、大東遷葬手に突入したこともあつて、この計画が、戦後復讐のやむを得ないにいたつたのである。

戦後の窮乏がもくもくといふ中、当時旧海軍工廠内におかれて、多賀城を國土回復の中心と下げられることとなり、昭和廿一年一月地元市、市民の協力を得て、政府路の東北の一角に、多賀城神社の社殿として鎮座祭を執行し、以後は、昭和廿八年五月十日、臨時社名を定め、社前において祭典を莊厳に執行して来たのである。

昭和四十八年政府社區を史前公園として環境整備を始めるにあたり、八幡社跡とも伝えられる由緒ある現在、遷されたものである。

後村上天皇御製
我が末の世々に忘るな足柄や
箱根の雪をわけしじを

義良親王が御即位の後、かつて陸奥の國府多賀城へ王復の際、箱根において大雪にあい御難儀されたとき、このことを思い託されて詠まれた。

参考ホームページ

<http://www.city.tagajo.miyagi.jp/bunkazai/shiseki/bunkazai/shitebunkazai/kunishite/terato.html>

<https://www.thm.pref.miyagi.jp/kenkvusyo/guidance.html>

<http://abe-sin.com/kesiki/miyagi/tagazyouato.htm>

